

# 私の癌手術

## 胃がん 手術後フォローアップ



お名前

発行病院

発行年月日 20 年

2010年7月作成

## はじめに

「連携バス」とは、手術等を行った施設の医師と地域のかかりつけ医、保険薬局、訪問看護ステーション等があなたの治療経過を共有できる「治療計画表」のことです。

「連携バス」を活用し、病状が落ち着いているときの投薬や日常の診療はかかりつけ医が担当し、専門的な治療や定期的な検査は拠点病院が担当することによって、患者さんは、

最良の医療が継続して受けられます。

ひとりのある診察が受けられます。

病院・診療所での待ち時間が短くなります。

重複した検査・投薬が避けられます。

遠い人は通院の費用も軽減されます。

ご心配な点があれば、まずはかかりつけ医にご相談ください。  
かかりつけ医に連絡がつかない場合は、以下にご連絡下さい。

がん診療連携拠点病院：

窓口名：

時間：月～金

電話： 代表 ( - - - )

直通 ( - - - )

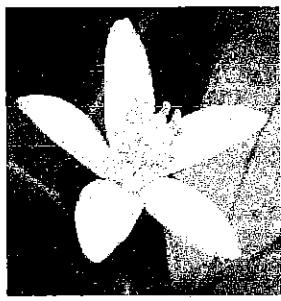
時間外 ( - - - - )

土日祝祭日 ( - - - - )

がん治療連携計画策定料、指導料

算定 □なし □あり

「連携バス」について心配やご不安がある場合は、遠慮なくお尋ねください。



みかんの花

## がん相談窓口のご案内

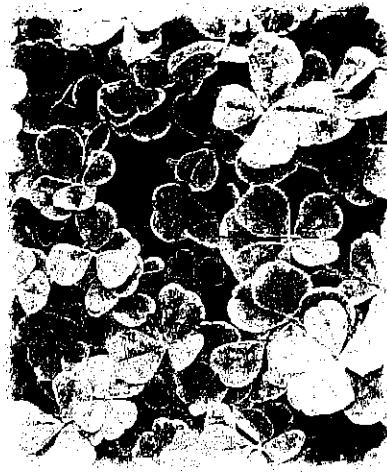
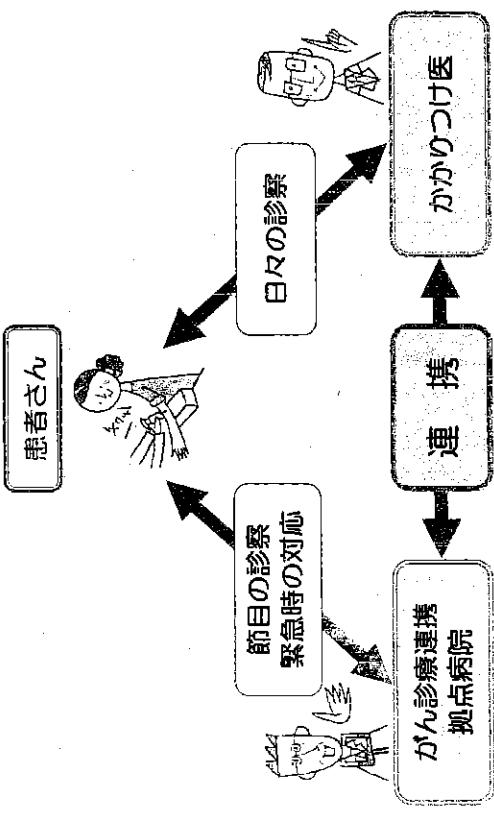
がん診療連携拠点病院の「がん相談窓口」では、専任の看護師、医療ソーシャルワーカーががんに関するあらゆる相談に応じています。

- ・がんの痛みや不安について
- ・がん治療の費用について
- ・家族の方の不安について
- ・一般の方がんに関するご質問・・・など。

退院後の生活に必要なサポートについても、主治医、病棟の看護師、地域の医療・福祉関係者と考えしていくとともに、かかりつけ医とがん診療連携拠点病院とのスムーズな連絡・連携の窓口としての役割も果たしています。

## もくじ

- はじめに／もくじ ..... 1
- 退院にあたって ..... 3
- 退院後の日常生活 ..... 4
- 胃手術後の後遺症 ..... 5
- 退院後もこれだけは忘れずに！ ..... 13
- 胃がん連携バス ..... 15
- 患者さん用メモ ..... 27
- 医療者用連絡メモ ..... 29
- がん相談窓口のご案内 ..... 33



# 退院にあたって

メモ

手術を受けた日： 年 月 日

受けた手術

□ 幽門側胃切除術

□ 胃全摘出術

□ 嘔門側胃切除術

□ 幽門保存胃切除術

□ その他 ( )

退院にあたって、薬剤師から服薬指導、服薬記録の説明を行います。よくお聞き頂いて、理解できない場合はお気軽にご質問ください。

□ 治療スケジュール説明

□ 患者様用パス説明

## 退院後の日常生活

からだの調子に自信がついたら、仕事に復帰。外出も旅行も、何でもできます。ただ、疲れすぎないようにします。

胃手術後の日常生活で気をつけたいこと

胃手術後の後遺症について、以下のような種類があります。

- ①腸閉塞（ちょうへいそく）
- ②ダンピング症候群
- ③貧血
- ④骨粗鬆症（こつそしそうしょう）
- ⑤逆流性食道炎
- ⑥胃手術後胆石症
- ⑦小胃症状

それについて説明いたします。

## 胃手術後の後遺症①

医師用連絡メモ

### 腸閉塞

手術したあとは、ほとんどの場合、お腹の中で腸があちこちにくっつきます（癰着-ゆちゃく）。その結果、腸が曲がったりせまくなることによって腸閉塞が起こることがあります。せまくなったところに食べ物がつまると、便もガスも出なくなります。ときには腸がねじれて、腸の流れが閉ざされてしまうこともあります。

### 〔 症状 〕

一般的に悪心、嘔吐、排便・排ガスの停止、腹痛がみられます。時には、腸がねじれて血流が途絶え、時間とともに腸が壊死（腸管の細胞が死滅してしまうこと）して、腸に穴が開いたりして大変危険な状態になることがあります。吐き気や嘔吐に加えて痛みが強い場合には、必ず医師の診察を受けて下さい。

### 〔 治療法 〕

多くの場合には、絶食していると自然に治るのでですが、ときには癰着をはがしたり、ねじれを治す手術が必要なことがあります。

年月日

連絡事項等あればご記載ください。

サイン

# 医師用連絡メモ

## 胃手術後の後遺症②

年月日 連絡事項等あればご記載ください。 サイン

ダンピング症候群

胃を切除すると、今まで胃の中で混ぜあわされて少しずつ腸に移動していた食物が、一度に急に腸へ流れ込む状態になります。そのために起きる不愉快な症状がダンピング症候群といわれるものです。食後 30 分以内に起こる場合（早期ダンピング症候群）が多いのですが、食後 2～3 時間で起こる場合（後期ダンピング症候群）もあります。

### 〔 症状 〕

早期ダンピング症候群：食後 30 分以内に発汗、めまい、脈拍が上がるなどの全身症状と恶心、腹部膨満感、下痢などの消化器症状が出現します。

後期ダンピング症候群：食後 2～3 時間に頭痛、汗が出る、脈拍が増え、めまい、脱力感を覚え、ときには気を失ってしまうこともあります。

## 患者さん用メモ

年月日 気になることがあれば自由にご記載ください。

〔治療法〕  
早期ダンピング症候群：安静により多くは数分～数十分で改善します。しかし、顕著な場合はお薬を使うこともあります。

後期ダンピング症候群：糖質の補給が必要になります。ブドウ糖の静注や、お菓子やあめ玉、氷砂糖をとったり、甘い飲み物を飲んで下さい。ただし、飲み物の場合には、たくさん量を一気に補給するとかえって良くない場合もありますのでゆっくりと飲みましょう。予防するには、食後2時間あたりに何か間食をとることが有効です。

## 患者さん用メモ

年月日 気になることがあれば自由にご記載ください。

### 貧血

### 胃手術後の後遺症③

胃の切除により、鉄分やビタミンB12が吸収されにくくなるために貧血が起こります。前者は、鉄欠乏性貧血、後者は巨赤芽球性貧血（きよせきがきゅうせいけつ）といいます。

鉄欠乏性貧血：手術後数ヶ月から出現することがあります。治療は、鉄剤の補充を行います。

巨赤芽球性貧血：ビタミンB12は体内に蓄積されており、数年間はその蓄積したビタミンB12でまかなうことができます。しかし手術後4～5年以降には蓄積がなくなり、巨赤芽球性貧血が発症することが多いです。治療法は、ビタミンB12の補充です。定期的に血液検査をして、不足していれば補給する必要があります。

## 胃手術後の後遺症④

### 骨粗鬆症

胃の手術をすると、カルシウムの吸収が悪くなるため骨のカルシウムが減少して骨が弱くなります。ときに、骨折したりします。必要であればカルシウムや、ビタミンDの投与があります。普段からカルシウムの補給には十分気を付けましょう。

5年目以降のかかりつけ医受診は必要時（3～6ヶ月ごと）

定期受診は5年目までですが、以後は施設によりことなります。

メモ

# 胃がん手術後連携パス

※「自覚症状」の欄は患者さんご自身で記入してください。

診療場所		がん診療連携拠点病院	
月	日	5年 ／	
診察・検査		○	
スケジュール		○	
教育・指導		○	
生活指導		○	
腸閉塞症状		口あり 口なし( )	
ダンピング症候群		口あり 口なし( )	
食道逆流症状		口あり 口なし( )	
貧血症状		口あり 口なし( )	
狭窄症状		口あり 口なし( )	
小脣症状		口あり 口なし( )	
その他の症状		口あり 口なし( )	
貧血(Hb)		口あり 口なし( )	
炎症所見(WBCなど)		口あり 口なし( )	
肝機能異常(GOT・GPTなど)		口あり 口なし( )	
腎機能異常(Crなど)		口あり 口なし( )	
腫瘍マーカー異常(CEAなど)		口あり 口なし( )	
画像検査異常		口あり 口なし( )	
体 重		kg	
腹 痛		腹痛	
腹部膨満		腹部膨満	
胸 や け		胸やけ	
下 紹		下紹	
吐き気・嘔吐		吐き気・嘔吐	
全身倦怠感		全身倦怠感	
めまい・冷や汗		めまい・冷や汗	
その他の		その他	

## 逆流性食道炎

食道内へ胃の内容物や、消化液が逆流することによっておこる食道の炎症です。胃カメラでみると、多くの場合食道がただれています。これは手術によって胃の入口（噴門）の逆流防止の機能が損なわれたために起こる場合と、主に加齢により噴門の機能が低下しておこる場合があります。

〔 症状 〕

苦い水（腸液）や酸っぱい水（胃液）が口のほうへ上がり、また、胸やけなどの症状が見られることができます。

〔 治療法 〕

上半身を 20 度くらい高くして寝ることにより多くは防ぐことができますが、病状に応じて粘膜保護剤、制酸剤、酵素阻害薬（有害な酵素作用を止める）などのお薬が投与されることがあります。

## 胃手術後の後遺症⑤



# 胃がん手術後連携パス

## 胃手術後の後遺症⑦

### 小胃症状

診療場所		がん診療連携拠点病院	
経過	月 日	4年 ／	
診察・検査	血液検査	〇	
スケジュール	画像診断	〇	エコーまたはCT、胃カメラ、胸部写真
教育・指導	生活指導	〇	
診察	腸閉塞症状	口あり	口なし( )
	ダンピング症候群	口あり	口なし( )
	食道逆流症状	口あり	口なし( )
	貧血症状	口あり	口なし( )
	挿穿症状	口あり	口なし( )
	小胃症状	口あり	口なし( )
	その他の症状	口あり	口なし( )
	貧血(Hgb)	口あり	口なし( )
	炎症所見(WBCなど)	口あり	口なし( )
血液・画像検査	肝機能異常(GOT・GPTなど)	口あり	口なし( )
	腎機能異常(Crなど)	口あり	口なし( )
	腫瘍マーカー異常(CEAなど)	口あり	口なし( )
	画像検査異常	口あり	口なし( )
腹部のチェック		Kg	
	体重		
	腹痛		
	腹部膨満		
自覚症状			
それ以外のチェック	胸やけ		
	下痢		
	吐き気・嘔吐		
	全身倦怠感		
	めまい・冷や汗		
	その他		

# 退院後もこれだけは忘れない！

☆ 定期的な診察や検査に行きましょう

手術後5年を目途に、定期的な診察や検査を行います。

診察や検査の間隔は、手術後の状態によって違いますから、

医師の指示通り、決められた日に診察や検査を受けるよう

にしてください。なお、定期検査は胃がんを対象としてい

るものです。他の病気をカバーするものではありません。

住民検診、職場検診を受けましょう。

☆ 毎月1回、自己検診を続けましょう

どんな病気でも早期に発見して、早期に治療することが  
大切です。毎月1回、日を決めて、ご自分で症状をチェック  
してください。気になるところがあつたら、主治医、あ  
るいはかかりつけ医に相談してください。

☆ 指示された薬は忘れずに服用しましょう

病院で処方された薬は手術の治療効果を高めるために  
必要なものです。薬を服用するように医師から指示された  
場合には、指示された通りに忘れずに正しく服用してください。

副作用がある場合には、医師に申し出てください。また、  
薬局で購入した市販薬（胃薬等）、いわゆる健康食品につ

※「自覚症状」の欄は患者さんご自身で記入してください。

3年目

かかりつけ医	がん診療連携拠点病院	かかりつけ医
3年3ヶ月	3年6ヶ月	3年9ヶ月
/	/	/
○	○	○
○	○	○
(エコー)	エコーまたはCT	(エコー)
○	○	○
□あり □なし( )	□あり □なし( )	□あり □なし( )
□あり □なし( )	□あり □なし( )	□あり □なし( )
□あり □なし( )	□あり □なし( )	□あり □なし( )
□あり □なし( )	□あり □なし( )	□あり □なし( )
□あり □なし( )	□あり □なし( )	□あり □なし( )
□あり □なし( )	□あり □なし( )	□あり □なし( )
□あり □なし( )	□あり □なし( )	□あり □なし( )
□あり □なし( )	□あり □なし( )	□あり □なし( )
□あり □なし( )	□あり □なし( )	□あり □なし( )
□あり □なし( )	□あり □なし( )	□あり □なし( )
□あり □なし( )	□あり □なし( )	□あり □なし( )
□あり □なし( )	□あり □なし( )	□あり □なし( )
□あり □なし( )	□あり □なし( )	□あり □なし( )
□あり □なし( )	□あり □なし( )	□あり □なし( )
□あり □なし( )	□あり □なし( )	□あり □なし( )
□あり □なし( )	□あり □なし( )	□あり □なし( )
□あり □なし( )	□あり □なし( )	□あり □なし( )
kg	kg	kg

# 胃がん手術後連携バス

いても医師、薬剤師にご相談ください。よかれど思つてと  
つてはいる健康食品で、思わぬ副作用が出ることがあります。

☆ 憮んでいるのはあなただけではありません

あなたが安心して治療や検査を続けていくためには、家族とともに医師や看護師さんとのコミュニケーションをよくし、一緒にこの病気と闘っていく気持ちが大切です。  
まだまだ、不安や悩みがあると思いますが、あなたと同じ経験をされた患者さんはたくさんいらっしゃいます。  
愛媛がん患者・家族の会「おれんじの会」や四国がんセンターでは「まろん会」という名で胃がん手術後の患者さんたちの勉強・懇親の場を設けています。

おれんじの会 (<http://haisai.jp/orange/>)  
まろんの会 (<http://www.shikoku-cc.go.jp/local/seminar/marron.html>)

診療場所		がん診療連携拠点病院	
経 過	月 日	3年	/
診察・検査スケジュール	血液検査	○	○
教育・指導	画像診断	エコーまたはCT、胃カメラ、胸部写真	○
診 療	生活指導	腸閉塞症状	口あり 口なし( )
	ダンピング症候群	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )
	食道逆流症状	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )
	貧血症状	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )
	狭窄症状	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )
	小腸症状	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )
	その他の症状	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )
	貧血(Hb)	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )
	炎症所見(WBCなど)	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )
血液・画像検査	肝機能異常(GOT・GPTなど)	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )
	腎機能異常(Crなど)	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )
	腫瘍マーカー異常(CEAなど)	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )
	画像検査異常	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )
	体 重	kg	kg
腹部のチェック		腹 痛	腹部膨満
		胸 や け	
		下 痢	
		吐き気・嘔吐	
それ以外のチェック	全身倦怠感	めまい・冷や汗	その他

自覚症状

胃がん手術後連携パス

手術日 年 月 日

※「自覚症状」の欄は患者さんに自身で記入してください。

診療場所		がん診療連携拠点病院	
経過	月日	1ヶ月	
月	日	○	○
診察・検査	スケジュール	○	○
教育・指導	生活指導	○	—
診察	陽開塞症状	□あり □なし( )	○
	ダンビング症候群	□あり □なし( )	○
	食道逆流症状	□あり □なし( )	○
	貧血症状	□あり □なし( )	○
	狭窄症状	□あり □なし( )	○
	小胃症状	□あり □なし( )	○
	その他症状	□あり □なし( )	○
	貧血(Hb)	□あり □なし( )	○
	炎症所見(WBCなど)	□あり □なし( )	○
血液・画像検査	肝機能異常(GOT・GPTなど)	□あり □なし( )	○
	腎機能異常(Crなど)	□あり □なし( )	○
	腫瘍マーカー異常(CEAなど)	□あり □なし( )	○
	画像検査異常	□あり □なし( )	○
腹部のチェック	体重	Kg	kg
	腹痛		
	腹部膨満		
	胸やけ		
	下痢		
	吐き気・嘔吐		
それ以外のチェック	全身倦怠感		
	めまい・冷や汗		
その他			
自覚症状			

# 胃がん手術後連携バス

～9ヶ月

※「自覚症状」の欄は患者さんご自身で記入してください。

診察・検査	スケジュール	がん診療連携拠点病院		がん診療連携拠点病院		かかりつけ医		かかりつけ医	
		月 日	経 過	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	9ヶ月		
血液検査		○	○	○	○	○	○	○	
画像検査	画像診断	エコーまたはCT、胃カメラ、胸部等観察	○	○	○	○	○	○	
生活指導	教育 指導	○	○	○	○	○	○	○	
	腸閉塞症状	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	
	ダンピング症候群	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	
	食道逆流症状	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	
	貧血症状	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	
	狭窄症状	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	
	小腸症状	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	
	その他の症状	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	
	貧血(Hb)	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	
	炎症所見(WBCなど)	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	
血液・画像検査	肝機能異常(GOT・GPTなど)	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	
	腎機能異常(Crなど)	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	
	腫瘍マーカー異常(CEAなど)	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	
	画像検査異常	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	口あり 口なし( )	
自覚症状									
腹部のチェック									
それ以外のチェック	腹 痛	脹 腹	胸 や け	下 痢	吐き気・嘔吐	全身倦怠感	めまい・冷や汗	その他	KG

胃がん手術後連携パス

※「自覚症状」の欄は患者さんご自身で記入してください。

診療場所		がん診療連携拠点病院	
経 過	月 日	1年	
診察・検査	月	診 察	○
スケジュール		血液検査	○
教育・指導		画像診断	エコーまたはCT、胃カメラ、胸部写真
		生活指導	○
診 察		陽開塞症状	□あり □なし( )
		ダンピング症候群	□あり □なし( )
		食道逆流症状	□あり □なし( )
		貧血症状	□あり □なし( )
		その他症状	□あり □なし( )
		狭窄症状	□あり □なし( )
		小胃症状	□あり □なし( )
血液・画像検査		炎症所見 (WBCなど)	□あり □なし( )
		肝機能異常 (GOT・GPTなど)	□あり □なし( )
		腎機能異常 (Crなど)	□あり □なし( )
		腫瘍マーカー異常 (CEAなど)	□あり □なし( )
		画像検査異常	□あり □なし( )
自 覚 症 状		体 重	Kg
腹部のチェック		腹 痛	
		腹部膨満	
		胸 やけ	
		下 痢	
		吐き気・嘔吐	
それ以外の チェック		全身倦怠感 めまい・冷や汗	
		その他	

自 症 狀

七

その他